

海蔵あくら



四日市市立海蔵小学校
校長室 だより
令和5年3月23日
第13号
文責 校長 柳川 洋史

卒業式 式辞…

穏やかな日差しの中、卒業証書授与式を行うことができました。

卒業生の凛とした姿、所作、発する言葉に、清々しさと共に、これからの未来へ向かっていくという力強さを感じずにはいられませんでした。

その卒業生に「式辞」として、言葉を贈りました。伝えたかったことの概要を改めてまとめました。当日は、卒業生の顔を見ながら話そうと決めていたので、緊張もし、概要通りの言葉にはなりませんでした。しかし、卒業生には、真剣に目と耳で真剣に言葉を受け取ってくれる表情があり、とても頼もしく思われました。在校生の皆さんへのメッセージとしても伝えたいことなので、記させていただきます。



6年生最後の授業参観のことを覚えていますか？

9個のキーワードを自分にとって大切なものを基準にしてランキングし、その意味から学び合う道徳でしたね。

キーワードは「平和」「勝利」「お金」「家族」「優しさ」「勉強」「健康」「自由」「友情」

3クラス共通で上位に入ったのは「平和」「家族」でした。

ウクライナのことや、日々の生活から感じているからこそでしょう。

今日は、あえて下位に入った「勝利」について考えてみましょう。

授業では「勝つことだけがすべてではない」と考えた人が多かったようですね。その通りだと思います。

では、みなさんは何に対しての「勝利」と考えましたか？

スポーツ？テスト？遊びの中のゲーム？何かの趣味？

今年の6年生の中で、こんな人に出会いました。

毎朝、校長先生は東門か西門に立ち、見守りをしています。その子は、集団登校で1年生を含めた7人ぐらいを連れた班長でした。

こちらから「おはようございます」と声をかけても、視線も合わず下向き加減で歩いていき、返事は返ってきませんでした。「どうしてだろう」と感じながらも、その様子は1学期の間ずっと変わりませんでした。担任の先生に聞くと、普段からおとなしめの子だと教えてもらいました。

ところが2学期のある日から、小さな声ですが「おはようございます」と挨拶してくれるようになったのです。

その子は、マスクの下で「あいさつした方がいいのはわかっているけど」と悩んでいたんだと思います。目しか見えていなかったけど、そう感じさせられる雰囲気がありました。

その子が戦って「勝利」したものは何でしょう？

「恥ずかしさ」「今更あいさつしなくても」という正しいことから逃げる気持ちと戦って「勝利」したと考えられるのではないのでしょうか。

それ以来、小さい声ですがその子はずっと挨拶を続けてくれています。

「あいさつする」「いじめをしない」「忘れ物をしない」「家の手伝いをする」「決めた時間に起きる」…当たり前であればいいことですが、つい「1回ぐらいさぼってもいいか」「誰も見ていないからどうでもいい」と考えることはありませんか。

実は、「さぼろう」「楽をしよう」という気持ちと、「正しいことを続けよう」という気持ちは、毎日勝負しているのかもしれない。

楽をしたい気持ちは人間ですから当たり前にもっています。それを知りながら、自分自身と心の中で戦い「勝利」していくことは、成長するためにとても大切だと思います。

先に紹介した6年生の仲間は、あいさつできる自分を感じたことで、次のステップに向かうことができるはずです。

みなさんには、これからの生活で、些細なことでも、壮大なことであっても、目標を持ち、挑戦したくなることが出てくるでしょう。目標達成ために、続けて努力しなければならないことに出会うでしょう。その時、心の中で戦って勝利し、小さなことから一つずつ始められる人に成長していきましょう。

みなさんの、より一層の成長を、海蔵小学校教職員全員が、心より願っています。

海蔵小学校6年生の皆さん、卒業おめでとう。

1年生、2年生、3年生、4年生、5年生の皆さん、進級おめでとう。

